

平成 28 年 12 月 日

愛知県議会議員 様

済

30人学級

子どもと保護者が安心できる少人数学級の実現を求める請願書

紹介議員

わしの 恵子
下奥 奈歩

【請願事項】

- 1 学級編制基準を緩和し、小中高校の全学年に正規の教員配置で少人数学級を早急に拡大実施すること。

【請願の趣旨】

子どもたちの健やかな成長とゆとりのある学校を願い、学校現場と家庭・地域では、大人たちが手をつなぎ、さまざまな試みと工夫がすすめられています。

愛知県は小学校 1.2 年と中学校 1 年の 35 人学級が県独自に実施してきましたが、2012 年度から国の政策で小学校 1.2 年生 35 人学級が実現しました。そのことによって財源を増やすことなく、県独自で少人数学級を小学校 3 年生以上、中学校 2 年生以上に拡大できる条件が整いました。

しかし、愛知県ではその後少人数学級の拡充が見送られてきたため、また、中部地方の各県と比較しても、大きく立ち遅れていると言わざるを得ません。長野・静岡・福井・山梨ではすでに全学年で実施され、新潟県でも今年度から全学年で少人数学級が実施されています。岐阜県では、2013 年度に小学校 3 年生以上に拡充されました。また、県内のいくつかの自治体では限られた自治体財源の下、県以上の水準の少人数学級が実施されています。

子どもたちは、未来を担うかけがえのない宝です。今こそ、子どもたちに最善の環境を保障し、心がかよい、命を大切にする学校をつくる必要があります。そのためには、学習と生活にゆとりを生み出す「少人数学級」をすべての学年で実現することが大切だと考えます。今後、愛知県が必要な予算を充て正規の教員を配置し、すべての小中高校に少人数学級を早急に実施することを願い請願します。

請願団体 子どもと親が安心できる 30 人学級を求める会

住所 名古屋市中川区戸田 3-1211 山田清文気付

代表 折出健二 印